

やる気スイッチ

今日で登校日数が74日ありました一学期が終了します。どの学年も、学年の宿泊行事等を通して互いの絆を強くしたことと思います。また、先程は、部活動の大会での報告も兼ね賞状を紹介しましたが、どの部も目標に向けて精一杯取り組み、力を出し切ることができたことと思います。特に、グットマナー賞を多くの部が受賞できたことは、本校の財産です。

3年生は、部活動で学んだことをこれからの学校生活や進路選択に生かしてほしいと思いますし、1, 2年生は先輩の姿を引継ぎ、これからの活動を充実させてほしいと思います。

なお、合唱団の皆さんは、更北中学校の皆さんと8/3の地区大会に出場します。美しいハーモニーを発表してきてください。

さて、今年は様々な分野で中学生が活躍していますが、皆さんは、誰を思い出しますか。

私は、まず将棋で活躍している「藤井聡太」さんを挙げます。藤井さんは、現在、名古屋大学教育学部附属中学校の3年生です。昨年12月にプロの棋士としてデビューし、今年の6月まで公式戦29連勝という偉業を成し遂げました。ここ2試合は残念ながら負けていますが、通算29勝2敗という見事な成績です。

藤井さんは、小さい時に、おじいさんに将棋を勧められて将棋を始めたようですが、生来の負けず嫌いなところもあり、めきめきと力を付けてきたようです。特に、小さいころから詰め将棋をしていたこともあり、プロの試合でも終盤持ち時間が少なくなってきた時に集中力を発揮し、勝利へ駒を進められるようです。

もう一人紹介します。卓球の「張本智和」さんです。張本さんは、現在、東京都の稲付中学校の2年生です。今年の世界卓球選手権では、個人戦で3位、ダブルスでは準優勝という見事な成績を収めました。張本さんは、両親が卓球の選手だったということもあり、小さい時から毎日練習に打ち込み、小学生の頃から頭角を現し、ジュニアの世界大会でも優勝してきています。

まだ他にも活躍している中学生はいるかと思いますが、この二人に共通していることは、小さい頃に、「やる気スイッチ」が入ったことです。それぞれ、「やる気スイッチ」が入ったきっかけは、おじいさんだったり、両親だったりしますが、スイッチを入れたのは、藤

井さん、張本さん自身です。

しかし、この二人はスーパー中学生と呼ばれていますが、決して別の世界の人ではありません。皆さんと同じ中学生です。

皆さんの「やる気スイッチ」はどうでしょうか。既にスイッチが入っている人もいると思ひ、まだスイッチが入っていない人もいるかと思ひます。中には、まだスイッチが見つからない人もいるのかなとも思ひます。どちらかというひ、見つからない人の方が多いかも知れませんね。

さて、明日から30日の夏休みに入ります。「暑い、暑い」とぼやいていても夏休みは終わってしまいます。でも、「やる気スイッチ」を入れ、一日一日を充実させていくことで大きな成果を挙げることもできます。

学年によって、或いは一人一人によって「やる気スイッチ」の種類は違ひと思ひますが、夏休みが終えた時に、何かをやり遂げたといえるものがあれば素晴らしいですね。

皆さんのスイッチの中には、藤井さんや張本さんのように、これから自分の進む道に繋がるスイッチもあるかも知れませんし、2学期からの学習や部活動に繋がるスイッチもあるかと思ひます。皆さんの「やる気スイッチ」に期待します。